

# 持続可能な道の駅を目指して 北三陸の海・山・里・ひとをつなぐ交流拠点



広域ホールとキッズスペースイメージ図



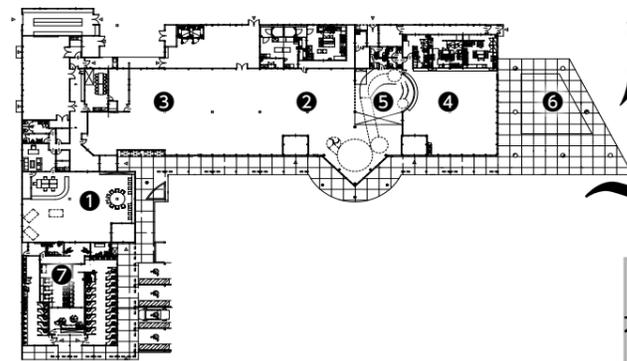
外観イメージ図



屋根付きイベント広場イメージ図



情報発信・休憩スペースイメージ図



平面図

## 広域道の駅基本設計を完了 ～令和3年秋の着工に向け～

三陸沿岸道路は久慈インターチェンジ以北が開通し、同インターチェンジより南の区間も本年中に全線開通する見通しとなりました。三陸沿岸道路の全線開通による経済効果を見通し、整備を進める「広域道の駅」。このたび、施設の基本設計が完了しました。

官民連携と広域連携を大きな特徴とする「広域道の駅」の基本設計の概要を紹介します。

### ■南部曲がり屋をイメージ

久慈北インターチェンジからすぐの場所に整備を進める「広域道の駅」は敷地面積約1・6畝。建物は木造（屋根付きイベント広場はRC造一部木造）平屋建て、延べ床面積は2253平方メートルで、外観は南部曲がり屋風のL字型とし、意匠には地元産木材を活用するなど木のぬくもりを感じられるつくりとしました。また場内の駐車可能台数は151台（うち大型20台）で、敷地内には民設民営ガソリンスタンドが整備予定です。

### ■広域の魅力発信基地

広域道の駅は、久慈広域の魅力発信基地として地域のシンボルとなる施設を目指し設計を進めてきました。広域連携の道の駅として、4市町村内の既存の道の駅や観光施設に誘導する役割を担います。地域住民の日常使いと観光客で常に活気ある施設を目指します。

### ■主な施設の特徴

**① 情報発信・休憩スペース**  
4市町村の魅力を発信する移動式観光PRブースを備え、インフォメーションと連携した地域のゲートウェイ

### ② 広域ホール

広域連携の具体的な活動の場として、4市町村の特産品の試食や販売、PRが可能な空間

### ③ 物販・加工施設

4市町村の野菜、魚介類、加工品などの特産品を販売。地元産品の発掘や新商品の開発、6次産業化などにも取り組む施設

### ④ 飲食施設

フードコート形式で、久慈地域の特産品を活用した食事を提供

### ⑤ キッズスペース

屋内大型遊具を備えるほか、キッズトイレなども配置した施設

### ⑥ 屋根付きイベント広場

季節、天候を気にせずイベントが開催できるオープンスペース

### ⑦ 子育て応援機能

休憩スペース施設内にキッズ用トイレ、授乳室・おむつ交換スペースを配置し、子育て世代を応援

### ■事業スケジュール

現在は、実施設計を進めており、許可手続きと合わせて9月までに完了予定。その後、造成工事に着手し、本年度中には建築工事に取り掛かる見通しです。

また、年内にはテナント募集を実施予定。令和5年3月の竣工、4月オープンを目指します。